



高原町

議会だより

第58号

平成28年12月
定例会

おもな内容

- ごあいさつ(P2)
- 一般質問、ここが聞きたい(P4~P6)
- 総括質疑(P7~P8)
- 高原スポーツ少年団紹介(P12)

■発行/高原町議会

■編集/議会だより編集委員会

☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138

■発行日/平成29年2月1日



the most beautiful
villages
in japan



本年もよろしく申し上げます。



ごあいさつ



高原町議会議長
宮司 勲

青い空と柔らかな日差し、今年の年明けは穏やかな三が日でした。この一年、災害のない平穏な一年になることを祈るばかりです。

私は、新年早々、町の三つの行事に参加しました。

成人式では、次世代を、そしてこれからの高原町を担っていく新成人の若さあふれるフレッシュなエネルギーに大きな期待感を持ちました。

消防出初式では、雨のため屋内での式典になりましたが、団長の指揮の下、団員の規律ある動きの中に町民の生命と財産を守る熱意が感じられ、安心感を得ました。

また、県市町村対抗駅伝大会では、年齢・世代の異なる12名の選手が、町民の大きな期待と選手の汗のしみこんだタスキを懸命につなぎ第2位でゴールし、選手と多くの関係者が「チーム高原町」の思いを一つにして大会に臨んだ団結力を感じました。これらの行事は、新春にふさわしく、今後の高原町のまちづくりに必要な手ごたえを与えてくれたものでした。

私たち議会も、町民の代表として、民意の反映、政策立案、行政のチェック等、議会に与えられた役割を果たしていきたいと思っています。

議会へのご提言、議会だよりへのご意見、議会の傍聴についてもよろしく申し上げます。



12月 定例議会

あらまし

12月定例議会が12月7日に召集され、14日までの8日間の日程で開催されました。今議会は、同意1件、承認1件、議案12件の計14案件が当局より提出され、審議されました。内容としては「平成28年度一般会計補正予算（第5号）」が主なもので、そのほか、職員給与と勤務時間に関する条例の改正、高原町農業委

員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例制定等が審議・採決され、その他、陳情3件、発議5件が審議されました。
また、一般質問は、4人が登壇し、福祉・教育・財政・農業・まちづくり等多岐にわたって質問し、町当局の見解を質しました。

農業の収益力強化を目指して 畑かん事業・畜産収益力強化事業に補正

◇議案第64号 平成28年度一般会計補正予算（第5号）

補正予算の主なものは、「債務負担行為補正」として高原町立保育所指定管理業務委託費の限度額を5億4,950万5千円とし、平成29年度から平成33年度までの5ヶ年間の追加設定を行ったものです。

また、ふるさと納税特産品贈呈事業に2,704万円、ふるさと振興基金への積立金2,296万円、臨時福祉給付金事業4,782万9千円、畜産収益力強化対策事業補助金等の3事業に1億5,332万7千円、県営畑地帯総合整備事業として鹿児島地区、後川内地区に1,555万5千円、公共土木施設災害復旧費（現年災害）に911万4千円が計上されました。



畑かん基盤整備事業
（鹿児島中平地区）



運動公園災害

その他の主な議案

- ◇同意第9号 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
高原町大字広原 増田賢一氏が再選任されました。
- ◇承認第7号 平成28年度高原町一般会計補正予算（第4号）
公共土木施設災害復旧委託料・・・・・・・・57万1千円
都市公園施設災害応急復旧工事請負費・・・・・・300万円
- ◇議案第55号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
- ◇議案第56号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ◇議案第57号 議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
- ◇議案第60号 高原町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

一般質問

ここが聞きたい!

12月定例会は、4名の議員が登壇し、防災・農政・まちづくり等町政の全般にわたって質問・提言等がありました。

町長の政治姿勢を問う



反田 吉巳議員

問 次期政権への意思は。

答 引き続き高原町政を担当するために再度立候補する。

○今後の町政について

問 道の駅整備の予定地への建設は断念したが、今後の計画や考えについて。

答 平成29年を目処とした事業計画の策定は断念した。

本町の活性化を目指すためにも、道の駅は必要と考えている。町民の皆様の意見を十分傾聴し、取り組んでいく。

問 総合体育館の建設を先送りしているが、具体的な取り組みは？

答 財政状況等の理由により、先送りすると判断した。既存する3つの体育館は耐震性が危惧される。最低限必要な補強工事を随時進め、安全の確保を図る。

○防災拠点・役場の耐震化を

問 熊本地震では多くの公共施設が被災した。本町の役場庁舎の耐震化は。

答 人命を最優先に考え、公共施設の耐震化を急ぐ。

安全の確保を図るため、平成29年度予算を編成する上で、防災拠点である役場庁舎の耐震化を優先的に進める。

問 人口が減少し、高齢化が進んでいく中で国保税も増加した。町民への負担を考慮しつつ、町立病院の存続についてどう考えるか。

町長の税への依存 体質の見直しを!



陣 圭介議員

答 まちづくりを進めていく上で町民の健康、生命を守ることは重要である。地域医療が安定してこそ、子育て支援等の各施策の充実が図られる。近隣地域との医療連携・役割分担を進めながら、地域医療の確保に努めていく。

○政治家は名誉職

問 町長の年収は1千万円を超える。一般的水準から乖離しているのでは？

答 県内では下から3番目に位置する。一層我が身を削って行革にあたる。

問 3期を全うすると給与等の支給総額は約1億5千万円。町の財政状況を考えて、

この金額に見合う成果を残したと自負するか？

答 給与にふさわしい業務遂行を行い、町民の付託に応えていると考える。

問 道の駅整備を予定していた土地について、用地の使用権に応じた補償又は損害賠償の考え方は？

答 契約に至っていないことを理解いただきながら、お詫びで済ませている。

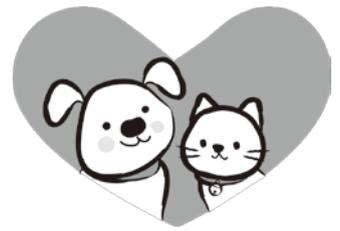
○健診等の受診率向上を

問 各種健診等の受診率向上へ向けた推進体制、方針等は？

答 乳幼児から高齢者まで、一元的な保健指導体制の整備を図るため、保健師等の集約について検討し、地区担当制の導入へと移行していく。

問 「手話言語条例」の制定に関する方針等は？

答 条例制定に向けての検討を重ねていきたい。



○動物の愛護を

問 野良犬、野良猫対策等の方針は？

答 飼い主には適正な管理をお願いし、動物愛護週間に合わせて普及啓発活動を行っていく。

○自らが稼ぐ自治体を

問 6次産業化に関し、新規事業者に対するフォローは？

答 県や農業振興公社と連携し、支援にあたっている。

問 自治体自らが稼ぐことについてどう考えるか。

答 高原町としてできるものを検討する。

問 資産運用の手法として、物価連動型国債を採用して

は？

答 十分に研究し、絶えず金融市場の状況を見ながら進める。

○まちづくり・観光事業について

問 観光協会への多額の人員費補助について、対象者に町の元課長級職員及び元特別職が含まれている。町民からは天下り団体との評価があるが。

答 行政職員として在職中に培った知識や経験を活かし、本町の観光の発展に努めていただいているものと認識している。

問 このような評価が団体の活動への支障になってはならないと考えるが。

答 経験と実績、ノウハウを持った方が、たまたまOBだったと考えている。

問 補助金の交付要綱で対象者を制限することはできないか。

答 今後の補助金交付に向けた論議、検討事項の一つである。

問 観光DMOに関し、西諸3市町での連携体制は？

答 連携体制も含め、DMOの形成については、今後意見のすり合わせなどの協議を行っていく必要があるものと考えている。

問 観光DMOについての町民の関与は？

答 ワークショップを開催した。一人ひとりが当事者として地域に根差した観光、まちづくりを行えるよう取組の強化を図り、機運の醸成を図って参りたい。



懸念される病床削減!!



中村 昇議員

○地域医療構想

問 「医療介護総合確保推進法」に基づき宮崎県は、地域医療構想を策定した。これは団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、病床の機能分化・連携をすすめる、医療機能ごとの2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、医療圏ごとに定めるものである。それによると、2014年の県内の病床数15,013

床を4,100床あまり削減、西諸医療圏では町立病院と同じ慢性期の病床数は350床を140床あまり削減するものである。これは病院の経営や町民の医療を守る上で大きな影響が懸念されるが、どのように考えるか。

答 入院病床の減少は、高原町の医療提供体制に多大な影響を与えるものであり、地域医療の崩壊につながることだと大変危惧している。

問 地域医療構想ガイドラインでは知事の権限は？

答 稼働していない病床への対応として、正当な理由がなく稼働していない病床は削減を命令することができるとなっている。

問 今後、調整会議で協議となるが、町民の医療を守る観点から町の医療提供体

制の必要性を積極的に述べ
る必要があるのでは。

答 本町からは、ほほえみ
館館長だけが会議構成員と
なっている。意見が反映さ
れるように取り組む。

**○選挙の投票率を上げるた
めに**

問 選挙年齢が18歳以上に
引き下げられた。参院選で
の投票率は、本県は全国よ
り低かった。新有権者にど
のような対応を考えるか。

答 他自治体の取り組みを
調査研究しながら、投票率
向上に努力していく。

問 投票所において、靴の
まま上がり投票できるよう
にできないか。

答 前向きに検討したい。

**○マイナンバーの取り扱い
は**

問 市町村では事業所で働
く人が納める住民税の額な
どを記した通知書を事業所

に送っている。新しい通知
書には新たに12桁のマイナ
ナンバーを記入する欄が設け
られている。本町では通知
書に記入するのか。

答 個人番号の利用にあた
っては、適正利用及び保護

貴重な文化財の保護を



松元 茂春議員

○平成29年度予算について

問 財源の確保が厳しくな
る中で、最小の経費で、最
大の効果をあげる事業運営
が求められる。どの事業を
最優先、最重要と位置づけ

の重要性が求められている。
特別徴収額の事業所への通
知書についての個人番号の
記載については、個人番号
の取得が進まない状況では
記載しない方向で考えてい
る。

予算編成されるか。

答 地方交付税の減少等で
厳しい財政の見通しである。
これまでの取り組みの効果
・成果等を検証し、将来を
見据えた財政の健全化を堅
持しながら施策を展開した
い。

総合防災対策事業、定住
化対策事業、農業の振興、
商工業振興、観光振興の推
進や企業誘致対策など、推
進を図る。

**○役場庁舎の耐震化につい
て**

問 本町庁舎は、耐震診断
の結果、補強工事が必要と
指摘されているが。

答 庁舎耐震化は最重要課
題である、公共施設等整備
検討委員会にて検討する。

○道路整備について

問 都市計画道路の二葉・
村移線の未着手部分につい
て、今後の取り組みは。

答 現在、平成28・29年度
の二ヶ年にかけて、都市計
画マスタープランの策定中
である。財源等を見据えな
がら検討する。

○文化財の保護について

問 教育長の「文化財」に
対する考え、思い入れは。

答 町内には、有形、無形の
様々な文化財が数多くあり、
町民の貴重な財産であると
認識している。祖先が守り
伝えてきた文化財の価値を
損なうことなく後世に継承
していくことが重要である。

問 町内には、400年以
上風雨に絶えてきた、貴重
な「庚申碑」がある。後川
内奥の庚申碑は、山林の中
にあり、崩落の危険性があ
る。また、町指定の広原池
の原の庚申碑は、台座の整
備や標注の設置など、対策
が必要と思われるが。

答 文化財保護の重要性を
深く認識し、文化財保護調
査員の助言を頂きながら、
保存のあり方について、検
討する。

問 町内にある、数多くの
史跡や遺跡などの保存等、
今後の取り組みについて。

答 文化財は町民の貴重な
財産である。多くの町民に
知っていただくための機会
を提供していきたい。



▲広原の庚申碑

平成28年度高原町一般会計補正予算

○町立保育所の

管理委託



しており、受託者の努力により児童数の増加を予測しており増額している。

陣 公募について、今後の流れは？

陣 町立保育所指定管理業務委託事業（平成29年度～平成33年度）について、債務負担行為の限度額設定前後での金額の変動は？

A 5億4,950万5千円は、5年間の限度額であり、単年度あたり1億990万1千円となる。平成24年度～平成28年度は3億2,069万6千円で、増額となっている。今回、指定管理業務について公募を予定

○ふるさと納税

陣 ふるさと振興事業費の歳出について、高原町スポーツ文化活動団体等誘致推進事業補助金が100万円計上されているが、補助対象及び目的は？

A 補助対象は、宿泊するスポーツ団体。町スポーツ文化活動団体等誘致推進協議会を通して補助する。内容は、宿泊助成が中心。増加が見込まれることから、100万円を計上している。

○地域振興作物定着促進事業補助

陣 地域振興作物定着促進事業補助金について、詳細な説明を。

A 国の経営所得安定対策の中の、畑作物の直接支払交付金制度の対象外となっ

た等級外の麦に対し、補てん金を交付する。

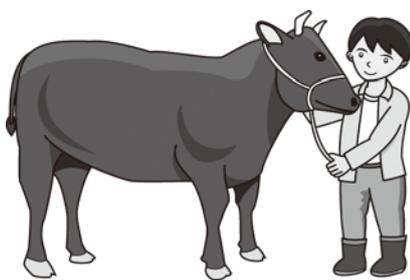
○畜産事業補助金

陣 畜産業費として補助金が3項目計上されているが、説明を。

A 和牛ブランド確立対策事業補助金について、若い繁殖母牛群を改良するため、最新の種雄牛の血統をもった繁殖雌牛を導入するための補助。当初105頭分に加え35頭分を増額するもの。畜産収益力強化対策事業補助金1億4,969万5千円は2事業が対象。高原町肉用牛クラスター協議会が事業主体で、こばやし農業協同組合が整備する家畜飼養管理施設を整備し、繁殖雌牛、妊娠牛等の導入を行うために2,078万9千円を補助するもの。また、

西諸県地域肉用鶏クラスター協議会が事業主体で、小林市の法人が高原町内で取組んでいる家畜飼養管理施設に対する補助で、鶏舎の新設のために、1億2,890万6千円を補助する。畜産関連施設高度化促進事業負担金109万2千円

については、西諸県郡市畜産販売農業協同組合（西諸畜連）の自動電子セリシステムの導入を行う。総事業費4,968万円の10%（消費税別）を小林市、えびの市、高原町で負担するもの。



○畑かん事業

陣 畑かん事業の850万円について、財源を町債で充てているが、起債した理由は？また、全額自主財源が充当されているが、国、県の財源が充てられていない理由は？

A 県営事業の負担金で、町の負担分について県に負担金を支払うもの。大きな建設事業等では、一般財源、国庫支出金等の特定財源等では賄えない場合、限定的に地方債を発行する。本事業については、現在の方々が使用するだけでなく、今後10年、20年引き続き利用することとなる。現在の住民だけが負担するのではなく、施設を利用していく将来の住民にも負担してもらい、世代間の費用負担を公平にする。国の補正で事

業費の増額があった。通常、財源は公共事業等債を充当するが、充当率90%（通常分50%、財源対策分40%）で、財源対策分のうち20%は交付税算入される。今回は、補正予算の絡みで事業費の100%が充当でき、うち50%が交付税算入される。

○施設災害

陣 都市公園施設災害復旧費350万円について災害場所及び内容は？

A 場所は総合運動公園内の多目的広場奥。応急復旧工事をしているが、被災箇所の流末整備を行うための設計を行い、事業費を把握するためもの。

○ふるさと振興基金残高

清水 ふるさと振興基金の残高は？

A 今年度の総取崩し額が9,000万円、積立額を8,990万円と見込んでいる。今年度末の基金残高は1億8,911万となる。

清水 し尿処理委託事業の精算金493万円の内容は？



▶被災した総合運動公園内の多目的広場奥

A 平成27年3月まで小林と高原の一部事務組合で運営していたが、解散したことから、小林市に委託しており、これに伴う平成27年度分の精算金である。

○有害鳥獣対策



中村 有害鳥獣捕獲対策事業について、町の計画においては捕獲された鳥獣は埋設を基本とすることになっている。実態は？

A 猟友会で構成する駆除班が自家処理又は埋設等を行っている。

中村 西米良ではジビエの加工処理、販売等、利活用を検討している。ジビエとしての加工処理・販売等の手だてができないか？

A 肉販売の処理加工施設については費用が多額であ

ることから、今後調査研究を進めていく。販路についても、通常の肉との競合等もあり、検討が必要。

中村 組織的に処理加工・販売すれば、新しい産業につながると思うが？

A 高原ではそういった協議はない。環霧島会議の中で各市町が検討している。

○遺跡発掘調査

松元 町内遺跡の発掘調査について、進捗状況は？

A 川路山遺跡で発掘調査を行っている。調査員及び町の職員が指示し、作業員を25名採用している。現在、表層の剥取りを終了。下層部分の遺物の取り上げ、測量等を行っている。別途、昨年調査した目ノ先第1遺跡の整理と報告書の作成も同時進行で行っている。

総務経済
常任委員会



◎考 察…駐車帯は、運転者の休憩等のために設けられたもの。運転の疲れをとるために重要。ゴミが不法投棄され駐車帯を封鎖しているが、ゴミ対策を行い開放することが望ましい。区画線は、事故防止の観点から早急に整備が必要である。



▲国道 223 号線（狭野地区）の駐車帯

◎調査期日…平成 28 年 10 月 24 日
 ◎調査事項…国・県・町道の駐車帯及び区画線の整備状況
 ◎調査結果…国道及び祓川旭台線の駐車帯は、ゴミの不法投棄のため遮断され駐車できなくなっている。町内多くの交差点で区画線（停止線・横断歩道）が消えて見えなくなっている。
 ◎対 策…神武大橋の両岸の 4 駐車帯は、ゴミ対策を検討し、解放を。国道 223 号線沿い（狭野地区）の駐車帯は、県土木事務所と協議し、隣接山林所有者の理解が得られるよう対応を。
 横断歩道や停止線、また走行帯等の区画線が不明瞭になっている場所は、警察署と協議し整備を。

道路の維持の状況を検証

日南市の健康づくりに学ぶ



◎調査日 平成 28 年 11 月 9 日（水）
 ◎研修地 日南市 健康推進課
 ◎調査事項 日南市における健康づくり推進体制
 (1) 保健師・管理栄養士と一体の保健指導体制
 (2) 特定健康診査受診後の指導について

文教厚生
常任委員会



▲集団健診の様子（ほほえみ館）

◎調査結果…保健指導実施方法の見直しや、組織の再編成により、特定健診受診率が 28%（平成 23 年度）から 40.3%（平成 27 年度）と約 12% 伸び、保健指導も 2,716 件（平成 23 年度）から 10,445 件（平成 27 年度）と大幅に伸びている。
 ◎考 察…本町も、保健師・管理栄養士の増員、保健指導に集中できる体制づくりが急務である。

総務経済
常任委員会

多彩な定住対策で実績

◎調査日…平成28年10月19日～21日
◎調査地…島根県邑智郡美郷町・島根県大田市
◎調査事項…定住促進対策、有害鳥獣対策、議会活性化、事業評価等

◎調査結果

- (1) 定住促進対策について
 - ・定住ポイント制度実施
 - ・子育て世帯の保育料、子ども医療費軽減、新婚夫婦の居住支援等を展開
 - ・起業コンテストを実施し、入賞者に起業支援
- (2) 有害鳥獣対策については、農作物被害農家がイノシシ等を駆除
- (3) 議会ライブ中継やタブレット端末の導入
- (4) 施策・事業の目標を明確にし、自己評価、委員会評価を経て、事業の仕分けを実施

◎考察

・少子化・高齢化の中は多彩な定住化対策を取り組んでいた。
・有害鳥獣駆除も、他の自治体にない取り組みで、参考となった。
・議会活性化については、議員全員がタブレットを導入し、効果的に運用。
・年度末に事業評価を実施することは、予算の有効な使途を考えるうえで有効。



▲大田市での研修

住民の健康意識の醸成

文教厚生
常任委員会

◎調査日…平成28年11月16日～18日
◎調査地…長野県豊丘村、長野県喬木村
◎調査事項…

- (1) 特定健康診査の推進
- (2) 特定健康診査受診後の取り組みと重症化予防
- (3) 小規模校のICTを活用した遠隔合同授業等

◎調査結果…

二つの村は、どちらも隣の飯田市にリニア中央新幹線の駅の整備が予定され、三遠南信自動車道路の開通も予定されており、今後都市部からの定住が見込まれており、企業立地が進んでいる。村民や従業員の健康増進を重点目標とした組織編成を行い、常勤保健師による地区担当制の導入や各種施策の実施の結果、健診受診率が高い(豊丘村60・3%、喬木村71・5%)。豊丘村保険計画は、妊婦・乳幼児・成人・高齢期ごとに実態・評価・計画・課題等が整理されていた。喬木村においては、地域住民の健康への高い意識醸成に加え、保健師・職員の普段の努力によって、特定健診受診率を70%以上の高水準で維持できている。遠隔合同授業等には、ICTをはじめ教育分野で先取りする村長の思いが強く反映されていた。



▲豊丘村での研修

平成28年 第4回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果	①陣圭介	②反田吉己	③北迫泉	④中村昇	⑤温谷文雄	⑥益本一博	⑦松元茂春	⑧清水公雄	⑨入佐廣登	⑩宮司 勤
同意第9号	固定資産評価審査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第7号	専決処分（専決第8号） 平成28年度高原町一般会計補正予算（第4号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第55号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第56号	特別職で常勤の者の給与に関する条例の一部改正	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第57号	議会議員の報酬・費用弁償及び期末手当条例の一部改正	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第58号	高原町税条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第59号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第60号	高原町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	可決	●	○	○	●	○	●	○	○	○	-
議案第61号	国民健康保険高原病院使用料、手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第62号	工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第63号	町道の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第64号	平成28年度高原町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第65号	平成28年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第66号	職員の育児休業等及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第2号	国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第3号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第4号	後期高齢者医療制度の保険料軽減特別措置の継続等を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	●	●	○	○	●	●	○	○	○	-
発議第2号	地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	●	-
発議第3号	国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第4号	介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討を中止し、制度の充実・改善を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第5号	後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○：賛成、●：反対、除：除斥、欠：欠席



目指せ!日本一!

高原スポーツ少年団



広原少女バレースポーツ少年団



平成9年に発足し、団歴20年。「整理整頓を心がけ、自分の役割を果たす」「一戦一戦、楽しくプレーする」とをモットーとし、上級生を敬い、自分で考えることを大切にしている。チームの雰囲気は明るくまとまっている。

現在、チームは、男子1名、女子9名で、団員が少なく、チーム編成が常に厳しく、新規加入者が待たれるところ。今後も、ファミリーマート杯大会や県の大会へ参加して頑張ります。

高原少年バレースポーツ少年団



平成10年に再発足しました。「あいさつをしっかりする」「コートでは、元気に・明るく・声を出す」ことを心がけ月・水・金の平日練習と週末は練習試合などを行っています。過去には九州大会に出場していますが、いつか全国大会に出場することが目標です。

現在団員は14名です。男子バレー人口が減っている中で、は団員は増えており、うれしい限りです。

3月に県の新人戦があるので、上位進出目指して頑張ります。

あ と が き

新年、明けましておめでとう
ございます。

◇昨年は、全国的に地震・台風や火事による大きな災害が発生し、尊い命が犠牲になりました。新しい年が、災害や事故のない穏やかな年になることを願うばかりです。

◇本町の人口が減少し続けていることは、議会の中でも大きな課題になっています。12月議会でも、町の活性化に向けての調査・論議がなされました。特に、町民の成人病対策等、健康に係る課題は早急に対策が必要です。

◇皆様も、体調に気を付けて、特定健診等を受診され、体調悪化の早期発見と対策を心がけていただきたいと願うところです。

(清水 公雄)